

紫式部の
筆はしる
源氏物語
誕生の地
大津
OTSU

大河ドラマ「光る君へ」放送を契機とした滋賀県大津市の取組紹介
令和6年3月15日版

はじめに

大河ドラマ「光る君へ」(NHK)の放送

放送予定 2024年(令和6年)1月～12月

主人公 紫式部/まひろ

主演 吉高由里子

作 大石静

制作統括 内田ゆき

大津市と紫式部、平安時代のゆかり

紫式部の筆はしる 源氏物語誕生の地 大津

世界最古の長編小説『源氏物語』の作者として知られている紫式部は、大津市の石山寺に参籠し、びわ湖に映る満月を見て、『源氏物語』を起筆したといわれています。紫式部 以外にも、石山寺は平安時代には天皇をはじめ多くの貴族や女流文学者から厚く信仰され、石山詣が盛んに行われていました。

ふじわらのためとき

石山寺のほか、紫式部の父・藤原為時が出家したといわれる三井寺や源氏物語に登場する比叡山延暦寺・逢坂の関、源氏物語の主人公“光源氏”のモデルの一人といわれる源融を祀る融神社など、大津市は紫式部や源氏物語、平安時代にゆかり深いまちです。

みなもとのとおる



画 唐々煙

【2024年1月～】紫式部関連展示の開催

紫式部の
筆はしる
源氏は
誕生の地
大津 OTSU

紫式部とのゆかりが深い、石山寺エリアと三井寺エリアの2拠点で
紫式部関連展示を開催します

石山寺エリア

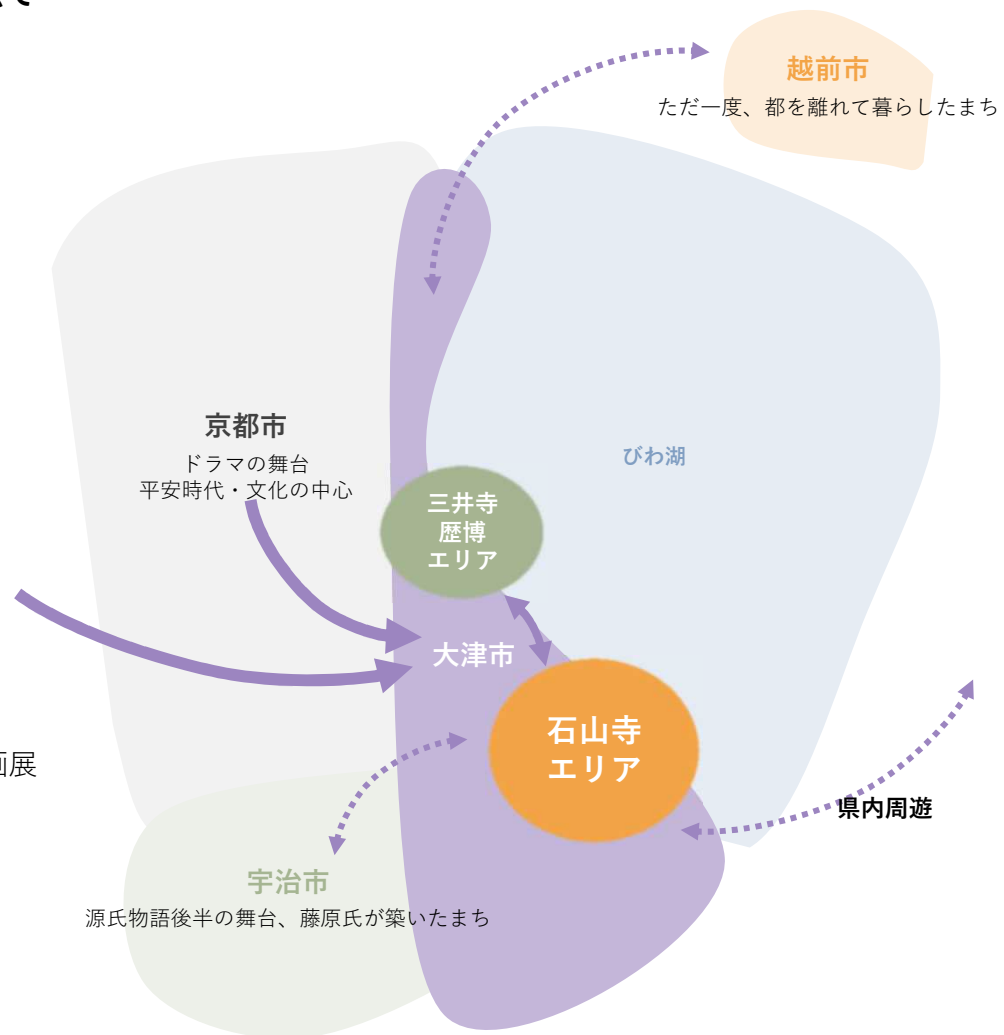
紫式部が源氏物語を起筆したといわれる石山寺で開催する企画展

- 光る君へ びわ湖大津 大河ドラマ館
(同時開催) 源氏物語 恋するもののはれ展
- 石山寺 「石山寺と紫式部展」

三井寺エリア

紫式部の父・為時が出家したといわれる三井寺エリアで開催する企画展

- 大津市歴史博物館 特集展示「源氏物語と大津」
- 三井寺 「紫式部と三井寺」



大河ドラマ関連展示／平安文化関連展示 概要

石山寺エリアでは、紫式部とゆかりの深い石山寺にて、「光る君へ びわ湖大津 大河ドラマ館」がオープン。オリジナル映像や衣装・小道具展示など、大河ドラマの世界に没入できる展示をご覧ください。また、源氏物語の和歌を題材とした「源氏物語 恋するもののあはれ展」を同時開催。和歌をイラストや音楽を用いて現代的に表現するなど、展示を通して平安時代の文化を身近に感じていただけます。大河ドラマのファンだけでなく、歴史好き、紫式部好きなど、どなたでもお楽しみいただけます。

展示情報

展示名称：光る君へ びわ湖大津 大河ドラマ館

(同時開催) 源氏物語 恋するもののあはれ展

開館期間：2024年1月29日(月)～2025年1月31日(金)

※期間中は原則無休

開館時間：9:00～17:00(最終入館 16:30)

※石山寺拝観時間 8:00～16:30(最終入山 16:00)

会場：石山寺境内 - 明王院・世尊院 (滋賀県大津市石山寺1-1-1)

展示内容：① 光る君へ びわ湖大津 大河ドラマ館 【会場：明王院】

大河ドラマの世界観を楽しむ展示

② 源氏物語 恋するもののあはれ展 【会場：世尊院】

「恋」をテーマに、平安時代の文化を感じる展示



石山寺“明王院”外観



石山寺“世尊院”外観

光る君へ びわ湖大津 大河ドラマ館 概要

ここでしか見ることができない、「光る君へ」のテーマを掘り下げるオリジナル映像や企画パネル、衣装、小道具などを展示
大河ドラマのファンだけではなく、歴史好き、紫式部好きの方々にお楽しみいただけます。

みどころ

- キャスト・スタッフの独自インタビューやメイキング映像を交えた、大津でしか見られない映像を4Kシアターで上映
- 主人公まひろ（紫式部）が身に付けた衣装を、平安時代の趣ある展示コーナーで間近に楽しめる
- 撮影の舞台裏や番組の考証担当による平安文化解説などの特集パネル展示

イメージ



大河ドラマ館 会場(石山寺 明王院) 外観



大河ドラマ館 館内イメージ

源氏物語 恋するもののあはれ展 概要

平安時代の「恋」を体感できる企画展。『源氏物語』の恋を人気イラストレーター描き下ろしイラストや音楽アーティストによるオリジナル楽曲で現代的に表現。色・香り・花など平安時代の恋を彩った文化に触れるコーナーもあり、どなたでもお楽しみいただけます。

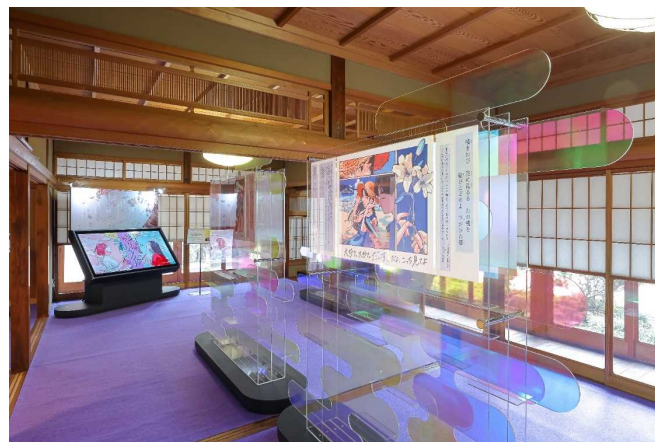
みどころ

- 源氏物語の和歌を題材にした、イラストレーター・日菜乃による描き下ろしイラストを展示
- アーティスト・あたらよがオリジナル楽曲を制作。イラストレーター・日菜乃の作品とコラボしたミュージックビデオを会場限定で上映
- 色・香り・花をモチーフとした、平安時代の文化を体感できるコーナー
好きな花を選んで恋のアドバイスがもらえるデジタルおみくじ「はなみくじ」も体験できる

イメージ



恋するもののあはれ展 キービジュアル



恋するもののあはれ展 館内写真

展示入館料

「光る君へ びわ湖大津 大河ドラマ館」と「源氏物語 恋するもののあはれ展」、2つの展示をご覧いただける展示入館券です

種類	区分	展示入館券	石山寺セット券	購入方法
当日券 (2024.1.29~)	大人(中学生以上)	600円	1,000円	現地窓口販売
	小人(小学生)	300円	450円	
団体券 (20名以上)	大人	500円	1,000円	下記公式サイトから 団体申し込み受付中
	中・高校生		850円	
	小人(小学生)	250円	450円	
未就学児		無料		

注意事項

- マスクの着用は任意といたします。
- 館内にお手洗いはございません。駐車場等のお手洗いをご利用ください。
- 館内は土足厳禁となります。エントランスでスリッパに履き替えが必要となります。
- 館内では飲食物、ベビーカー、キャリーケース、傘、雨合羽等の持ち込みが禁止です。
- 館内では許可された撮影ポイント以外での写真・動画撮影は禁止です。

お問い合わせ先

- 団体予約受付センター
TEL 077-526-8075
- 光る君へ びわ湖大津 大河ドラマ館
運営センター
TEL 077-500-0100

公式サイト

紫式部の筆はしる 源氏物語誕生の地 大津 公式サイト
<https://otsu-murasakishikibu.jp/>



石山寺エリア

展示情報

石山寺について

びわ湖から流れ出る瀬田川の西岸に位置する、真言宗の大本山

平安時代に観音信仰が広まると、京の都からほど近い石山寺へお参りする石山詣が貴族の間で流行し、多くの文学者も参詣されました。

紫式部が石山寺参籠中に「源氏物語」を起筆したという伝説は有名で、本堂の一角にある「源氏の間」は物語執筆の部屋といわれています。

他にも、「枕草子」「蜻蛉日記」「更級日記」など、石山寺は多数の文学作品に登場しています。

入山料金・時間

種類	区分	個人	団体（30名以上）	拝観時間
石山寺 入山料	一般	600円	500円	8:00～16:30 ※最終入山 16:00
	中・高生		350円	
	小学生	250円	200円	

アクセス

J R 石山駅よりバスで約10分

京阪石山寺駅より徒歩で約10分



企画展「石山寺と紫式部展」 概要

『石山寺と紫式部展』では、紫式部や源氏物語に関連する石山寺所蔵の文化財を、3期に分けて約100点公開します。紫式部が源氏物語を起筆した際に使用したと伝わる硯石（伝紫式部料 古硯）はすべての期間中展示いたします。

今後、紫式部の肖像画として有名な土佐光起筆「紫式部図」も修理後初公開予定です。

展示名称：企画展「石山寺と紫式部展」

期 間：2024年3月16日（土）～2024年12月1日（日）

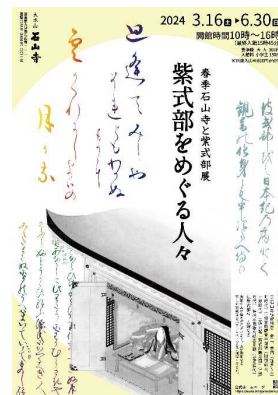
[春季] 2024年3月16日（土）～6月30日（日）「紫式部をめぐる人々」

[夏季] 2024年7月6日（土）～8月25日（日）「紫式部と光る君の物語」

[秋季] 2024年9月1日（日）～12月1日（日）「紫式部とほとけの道」

会 場：石山寺境内 - 豊浄殿（滋賀県大津市石山寺1-1-1）

開館時間：10:00～16:00（最終入館 15:45）



【春】紫式部をめぐる人々



【夏】紫式部と光る君の物語



【秋】紫式部とほとけの道

展示入館料（別途、石山寺入山料が必要。 ※一般（中学生以上）600円、小学生250円）

種 類	区 分	個人	拝観時間
石山寺 豊浄殿 入場料	一般	300円	10:00～16:00 ※最終入館 15:45
	中・高生		
	小学生	150円	

お問合せ先

- 拝観・宗教行事・ご祈願に関するお問い合わせ
 大本山石山寺 TEL 077-537-0013
- 各種催し・周辺観光情報に関するお問い合わせ
 （一社）石山観光協会 TEL 077-537-1105

石山寺物産館 紫-MURASAKI-

物産館では大河ドラマ関連商品をはじめ、びわ湖大津のええもん・うまいもんを多数販売

期 間：2024年1月29日（月）～2025年1月31日（金）

会 場：石山寺境内 - 拾翠園 （滋賀県大津市石山寺1-1-1）

開館時間：9:00～17:00

運 営：石山観光協会

取扱可能商品：文具、雑貨、紙製品等

食品に関しては、近江牛・湖魚等の商品を除く



石山寺 門前店舗

石山寺門前店舗でも、大河ドラマ関連商品や近江牛、湖魚などびわ湖大津のお土産を販売



洗心寮



ほたるの里（近江もーれつや）



至誠庵

石山寺 境内図

①光る君へびわ湖大津 大河ドラマ館

【会場：明王院】

②源氏物語 恋するもののはれ展

【会場：世尊院】

③石山寺と紫式部展

【会場：豊浄殿】

④石山寺物産館 紫-MURASAKI-

【会場：拾翠園】

⑤石山寺門前店舗 物産スペース



三井寺・歴博エリア 展示情報

三井寺について

天台宗の総本山である三井寺（長等山園城寺）は、7世紀に天智天皇ゆかりの寺として創建されました。

西国三十三所観音霊場の第十四番札所である観音堂が有名であり、近江八景の一つ「三井の晩鐘」でも知られています。

紫式部の父・藤原為時が出家した場所であると伝わっているほか、式部の異母兄弟の定暹が阿闍梨であったなど、紫式部にゆかりの深いお寺です。

入山料金・時間

種類	区分	個人	団体（30名以上）	拝観時間
三井寺 入山料	大人	600円	550円	8:00～17:00 ※受付終了 16:30
	中・高生	300円	250円	
	小学生	200円	150円	

特別展示 概要

三井寺所蔵の紫式部に関する品6点を初公開。あわせて平安・鎌倉・室町時代の仏像も同時公開予定

展示名称：紫式部と三井寺

期間：2024年1月29日（月）～2024年7月31日（水）

2024年10月1日（火）～2025年1月31日（金）

会場：三井寺境内-金堂（滋賀県大津市園城寺町246）

開館時間：8:00～17:00（受付終了 16:30）

料金：無料（別途、入山料は必要）

アクセス

京阪三井寺駅より徒歩で約7分

JR大津駅または大津京駅よりタクシーで約10分



お問い合わせ先

●総本山三井寺

TEL 077-522-2238

三井寺・歴博エリア 展示情報

歴史博物館 特集展示

2024年1月から**特集展示「源氏物語と大津」**を約1年間にわたって開催。

紫式部と源氏物語について基礎から楽しく学べる展示です。紫式部の人となりや石山寺で源氏物語を起筆した所以など、ロビーと展示室にて紫式部を紐解く特集展示を開催。幅広い世代の方々に源氏物語の世界をお楽しみいただけます。

展示情報

展示名称：**特集展示「源氏物語と大津」**

期 間：2024年1月10日（水）～2025年2月2日（日） ※月曜ほか休館日あり

会 場：大津市歴史博物館 常設展示室・ロビー（大津市御陵町2-2）

開館時間：9:00～17:00（最終入館16:30）

展示料金・時間

	区 分	個人	団体（15名以上）
歴史博物館 特集展示 入場料	一般	330円	260円
	高校生・大学生	240円	190円
	小学生・中学生	160円	130円

※企画展の入場料は別途必要となります。

アクセス

京阪大津市役所前駅より徒歩で約5分

JR大津京駅より徒歩で約15分



お問合せ先

●大津市歴史博物館

TEL 077-521-2100

三井寺・歴博エリア 展示情報

展示概要

【展示室】では紫式部や源氏物語に関するテーマに基づき、開催期間を6期に分けて展示を行います。180インチのモニターでは、特集展示のテーマに沿った映像をお楽しみいただけます。

【ロビー】には石山寺の「源氏之間」を再現したフォトスポットが登場。十二単の着付け体験や、体験型デジタルコンテンツも設置しています。また、会期中は、「紫式部と仏教」や「石山寺」など、様々なテーマの企画展を季節ごとに開催予定です。

みどころ

- 石山寺の所蔵品を中心に、市内に伝わる紫式部や源氏物語に関わる文化財を展示
- 石山寺「源氏之間」を再現したフォトスポット・着付け体験や体験型デジタルコンテンツの設置
- 展示室内ビデオシアターにて、源氏物語と大津の関係を紹介する映像を放映



THE TALE OF GENJI
源氏物語
OTSU CITY
MUSEUM OF HISTORY

展示イメージ

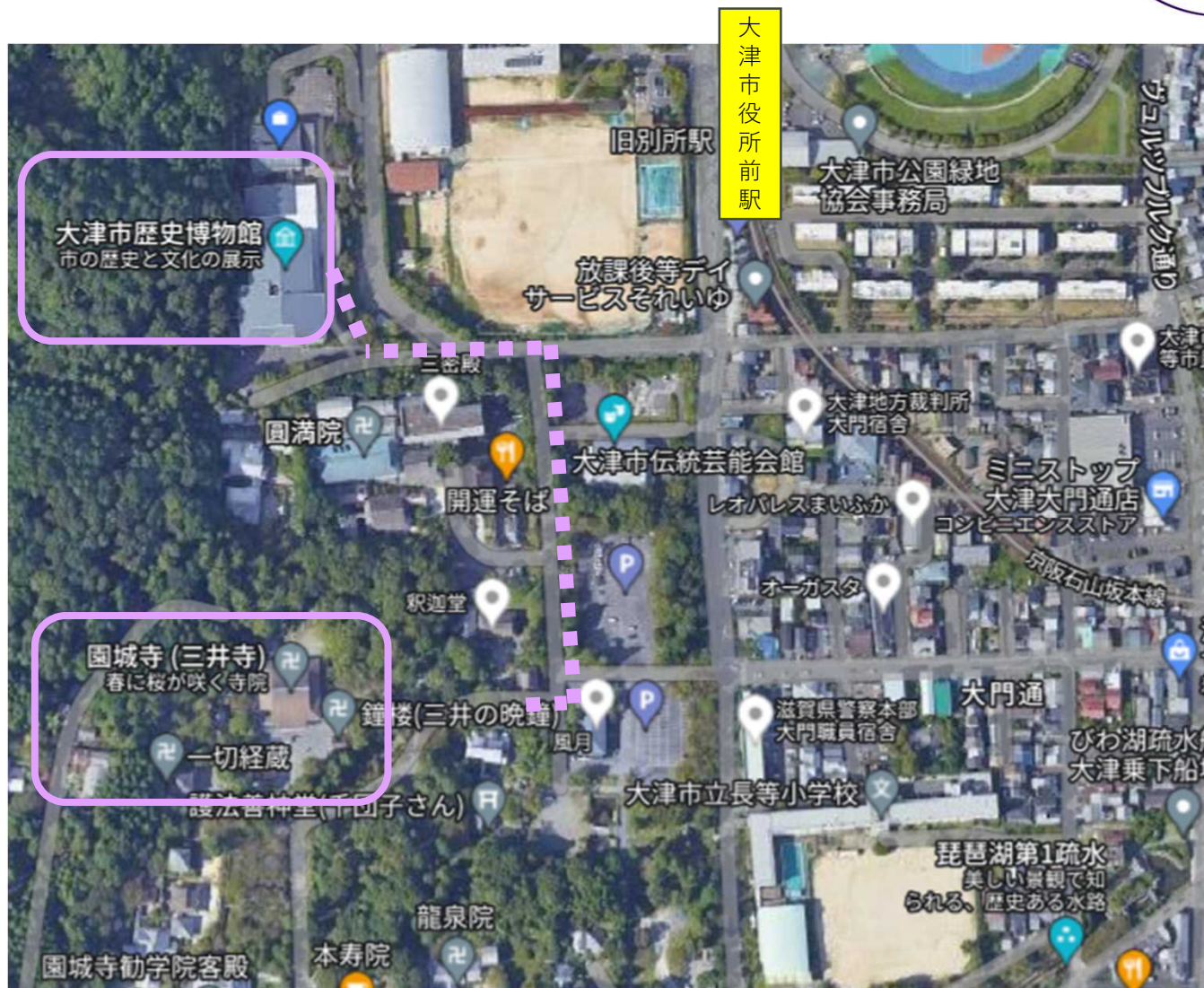
※イメージのため、変更となる可能性があります。



三井寺・歴博エリア 展示情報

三井寺・歴史博物館 エリア図

三井寺⇔歴史博物館
(約350m、徒歩5分)





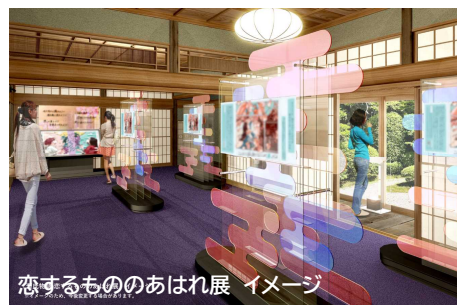
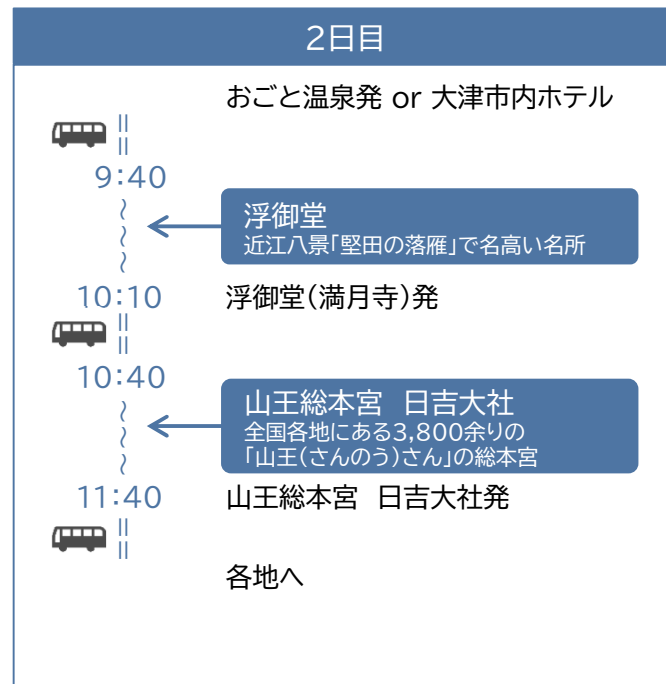
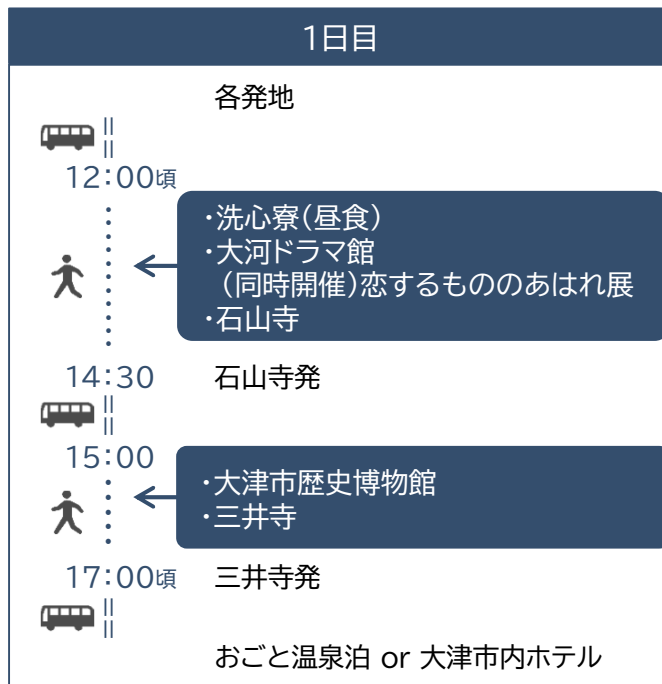
紫式部ゆかりの地
周遊ツアープラン

行程

紫式部ゆかりの地を巡る 1泊2日 (Aパターン)

1日目は、2024年大河ドラマの世界観を体感できる「光る君へ びわ湖大津 大河ドラマ館」と、『源氏物語』をイラストと音楽で表現する「源氏物語 恋するもののはれ展」、そして紫式部が『源氏物語』を起筆したと言われる石山寺をご見学。午後は大津市歴史博物館にて紫式部や『源氏物語』に関する文化財等の資料をご覧ください、紫式部の父・藤原為時ゆかりの三井寺を巡ります。

2日目は、『源氏物語』に登場する横川の僧都のモデルである源信が建立した浮御堂、光源氏が故桐壺院の為に行った法華八講を受け継ぐ日吉大社を訪ねます。



恋するもののはれ展 イメージ



ホテルイメージ



浮御堂

※写真はイメージ



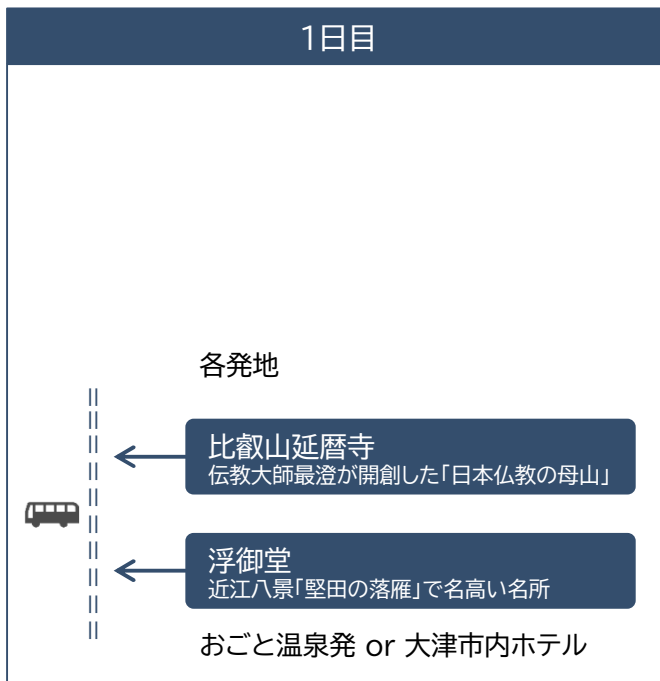
紫式部ゆかりの地 周遊ツアープラン

行程

紫式部ゆかりの地を巡る 1泊2日 (Bパターン)

1日目は、『源氏物語』に登場する横川の僧都のモデルである源信が修行した比叡山延暦寺と源信が建立した浮御堂を訪れます。

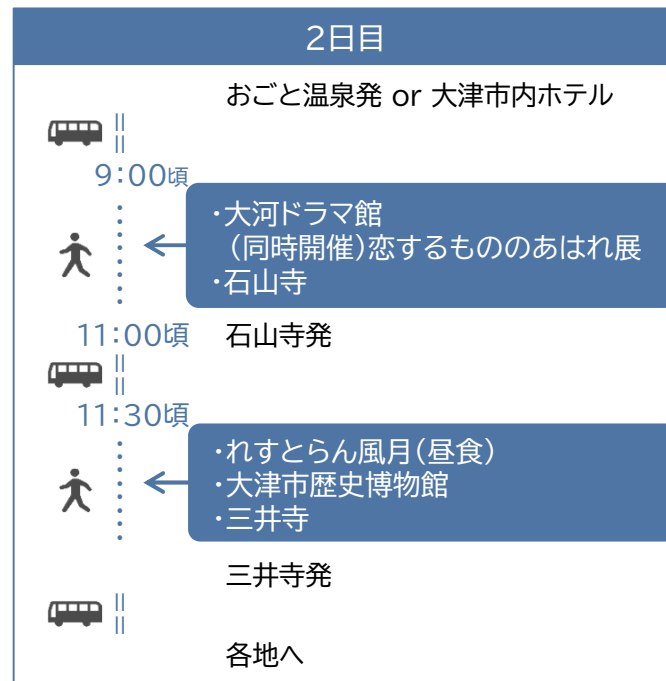
2日目は、2024年大河ドラマの世界観を体感できる「光る君へ びわ湖大津 大河ドラマ館」と、『源氏物語』をイラストと音楽で表現する「源氏物語 恋するもののおはれ展」、そして紫式部が『源氏物語』を起筆したと言われる石山寺をご見学。午後は大津市歴史博物館にて紫式部や『源氏物語』に関する文化財等の資料をご覧いただき、紫式部の父・藤原為時ゆかりの三井寺を巡ります。



比叡山延暦寺



ホテルイメージ



恋するもののおはれ展 イメージ

※写真はイメージ

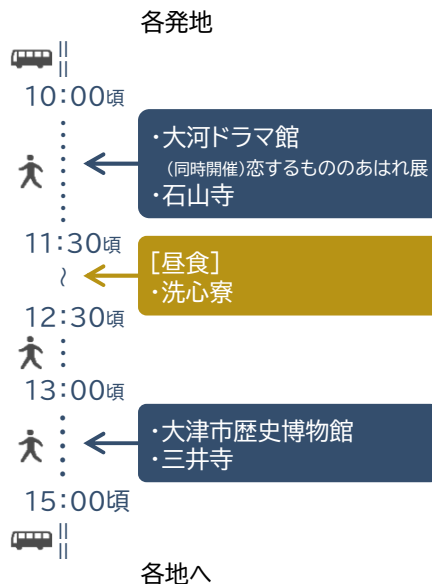


紫式部ゆかりの地
周遊ツアープラン

日帰りコース

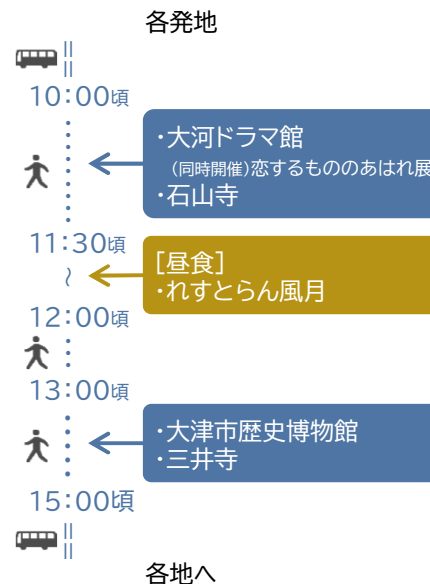
紫式部ゆかりの地を巡る 日帰りプラン

和食(湖国料理)プラン



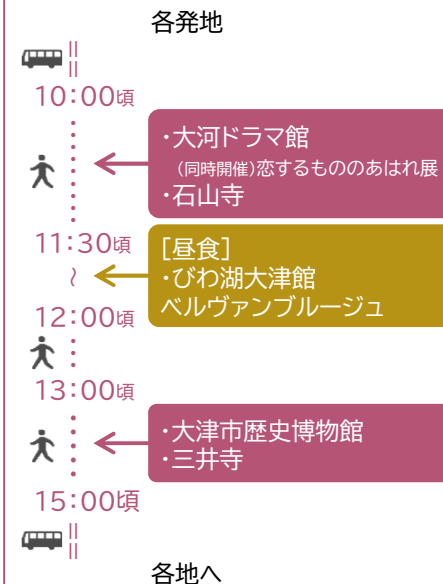
しじみ料理で有名なレストラン。
湖国料理をお楽しみいただけます。

和食(精進料理も可)プラン



精進料理が食べられるレストラン。
名物三井寺ひきづり鐘まんじゅう
もご賞味ください。

フレンチ プラン

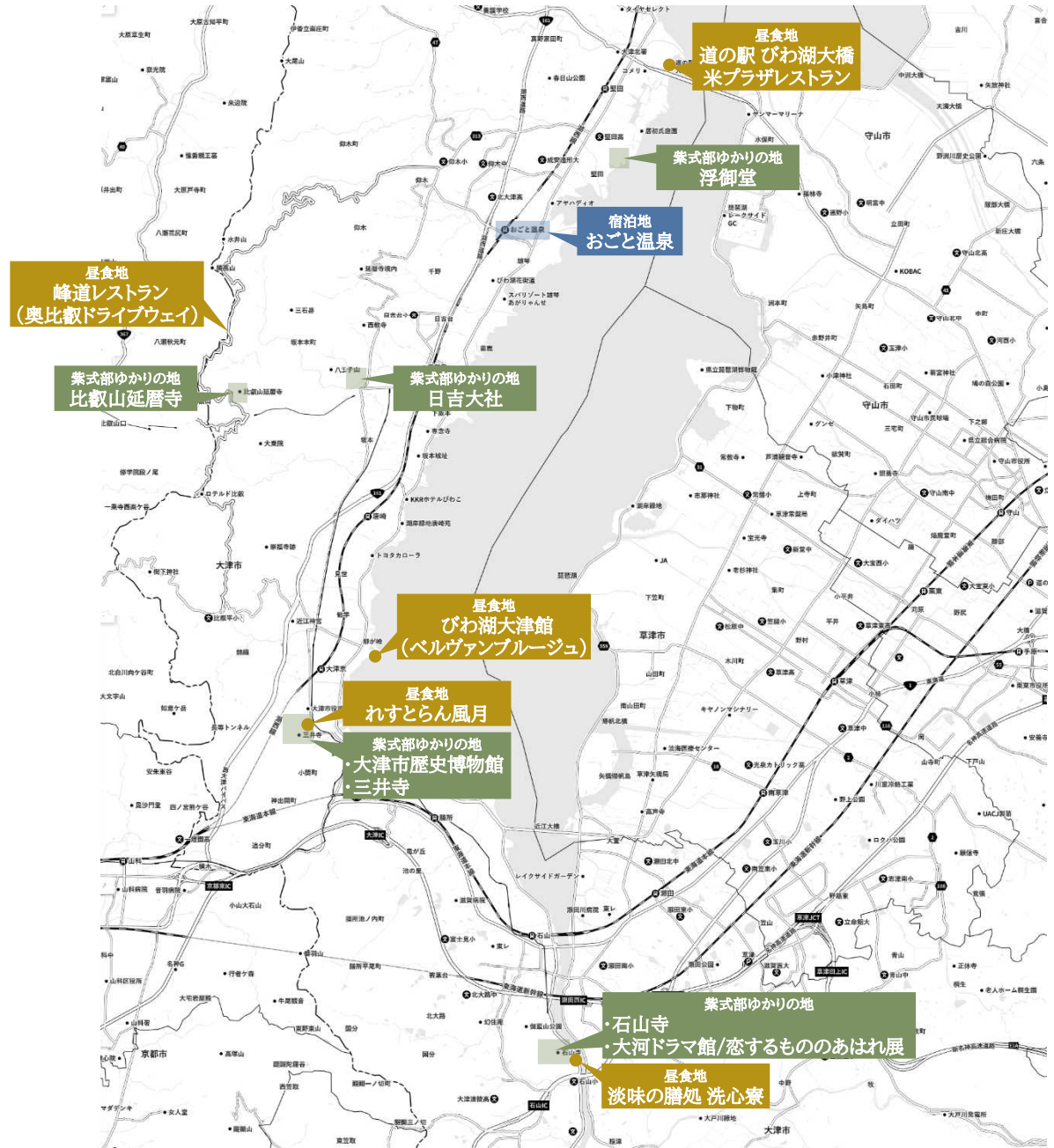


ベルギーの港町をイメージしたフ
レンチレストラン。昭和初期の近代
名建築でお楽しみいただけます。



紫式部ゆかりの地
ツアープラン

昼食場所



情報発信について

特設HPによる情報発信

- 協議会特設HP

<https://otsu-murasakishikibu.jp>

- 宇治市・越前市との3市共同HP

<https://murasakishikibu-kanko.jp/>



特設HPビジュアルイメージ

SNSによる情報発信

- X (旧Twitter) アカウント：@shikibu_otsu

2023年4月から運用開始

- Instagram アカウント：@shikibu_otsu

2023年10月10日から運用開始

特設HP



X



Instagram



本件に関するご案内・お問い合わせ

協議会事業全般に関するお問い合わせ

大津市産業観光部観光振興課

TEL : 077-528-2756

メール : otsu1604@city.otsu.lg.jp

観光に関するお問い合わせ

(公社)びわ湖大津観光協会

TEL : 077-528-2772

メール : info@otsu.or.jp

「大河ドラマ館」 「恋するもののあはれ展」に関するお問い合わせ

光る君へ びわ湖大津 大河ドラマ館 運営センター (JTB滋賀支店)

TEL : 077-500-0100

紫式部ゆかりの地
大津へ
ぜひお越しください♪



大津市観光キャラクター
おおつ光ルくん